

会 議 議 事 録

1 会議名	令和8年度第1回長岡市文化財保護審議会
2 開催日時	令和8年8月28日(金) 14:00～15:30
3 開催場所	長岡市歴史文書館 講座室
4 出席者名	審議会委員 平山委員長、三富副委員長、高石委員、田中聡委員、 長谷川委員、星野委員、山田委員 委員以外の出席者 (事務局＝科学博物館) 江田教育部長、目黒館長、田中館長補佐、五井総括副主幹、 鳥居係長、小林総括主査、丸山主査、山賀主査
5 欠席者名	田中和代委員、西田委員、羽鳥委員
6 議題	(1) 正副委員長の互選 (2) 「長岡市文化財保存活用地域計画」について (3) 村松村「河村検地帳」について 歴史文書館特別展見学
7 審議結果の概要	(1) 正副委員長の互選 委員長 平山委員 副委員長 三富委員 (2) 「長岡市文化財保存活用地域計画」について(資料No.1) 概要を事務局より報告 (3) 村松村「河村検地帳」について(資料No.2) 概要を事務局より報告
8 審議の内容	
委員	(1) 正副委員長の互選 委員長に平山委員、副委員長に三富委員が選出された。 (2) 「長岡市文化財保存活用地域計画」について(資料No.1) 事業の概要を事務局から説明 今後地域計画を実行していくうえで協議会等を作られると思うが、 どのような方針なのか。

事務局	所有者、地域住民、専門家及び行政等で協議会を作り、そこで具体的な事業の進捗状況や関係部署との調整を行っていく
委員	地域計画の内容を見てみると、身近な文化財がたくさんあることに気づけたが、市民の中でそれに気がついていない人が多いと思う。各地域に伝えてもらい、文化財を身近に感じてもらえるようにしてもらいたい。
事務局	各地域の方に伝わるように事業を進めていく
委員	他市町村の地域計画は、特定の地域の文化財を取り上げることが多いが、長岡市では市内全域を包括するストーリーを軸にして計画を作っているところが特徴だと思う。各ストーリーごとに中心となる地域はあると思うが、そこだけクローズアップするのではなく、他の地域もうまく取り込んで事業を展開してもらいたい。
事務局	各ストーリーごとに全市を対象に事業を考えていきたい。
委員	地域計画を具体的な事業として進めていく協議会に期待している。協議会には、寺泊水族博物館の協議会の方を入れるなど幅広い分野からの起用をお願いしたい。また、地域計画は10年計画になっているので、目標をもって事業を進めてもらいたい。
事務局	幅広い分野の方に参加していただき、協議会を運営していきたい。
委員 事務局	まずは、地域計画や文化財を市民に知ってもらうことが大切である。地域計画の本編は分量が多いため、パンフレットや分かりやすいコンテンツを作成する予定である。
	（３）新出の村松村「河村検地帳」について（資料No.2） 事業の概要を事務局から説明。
	その他
事務局	雪で倒壊した与板城大手門（市指定文化財）の現状報告を事務局より報告。 現在は、瓦は降ろされているが門は起こされている。所有者が地域住民に今後の取り扱いについてアンケート調査を行っている。
委員	アンケート調査の中に「除却」の選択肢が含まれているとのことだが聞いているか。

事務局	除却の可能性があることは聞いている。指定文化財であることから慎重に対応したい。 歴史文書館特別展「実物が語る 米百俵の精神と戦災復興」を見学
9 会議資料	別添のとおり